

令和2年 1 月

南伊豆町教育委員会議事録

日 時 令和2年1月20日(月) 13時57分から15時18分

場 所 南伊豆町役場 3階 会議室

出席委員 教 育 長 佐 野 薫

教育長職務代理者 下 村 和 雄

委 員 大 年 清 一

委 員 山 口 絹 代

委 員 井 上 誠 也

説明出席者 事 務 局 長 大 野 孝 行

学 校 教 育 係 長 萩 原 拓 三

社 会 教 育 係 長 桑 原 信 孝

1 開 会

事務局長 開会宣言

2 教育長あいさつ

佐野教育長 あいさつを述べて、署名人に佐野・山口・大野の3名を指名する。

3 教育長報告

佐野教育長 (資料の報告)

1 経過報告

(1) 小中学校2学期終業式 12/24

(2) ふるさと学級 スキー教室 12/25～27 長野県朝日村スキー場

(3) 出初め式 1/4 13:00 南中小グラウンド

(4) 小中学校3学期始業式 1/7

(5) 町臨時校長会 1/6・1/9

(6) 令和2年 南伊豆町成人式 1/12 10:00～ 役場1F湯けむりホール
・アトラクション(南伊豆中ソーラン隊)

(7) 小中連携桜並木清掃 1/16 13:30～ 〈東小中〉 〈中小・上小・豆中〉

2 教職員人事関係

- (1) 第1回賀茂地区教育長会 1/16 第2回 1/29 第3回 2/5
- (2) 人事異動作業（一般人事）
- (3) 管理職登用選考試験
- (4) 退職者（4人）
 - 定年（校長・教諭） 3人
 - 自己都合（教諭） 1人
- (5) 配置換え（2人）
- (6) 町担学習支援員 令和2年度予定数 合計10名
- (7) 優秀教職員表彰 県教委表彰 該当なし

3 教職員評価について

- (1) 教職員 各学校で管理職面談
- (2) 管理職 教育長面談
- (3) 教委 (1)(2)をまとめ静岡教育事務所へ持参提出 (2/26)

4 新ALTの雇用及び令和2年度ALT活用計画について

- (1) JETプログラムによるALT
- (2) 雇用数5名（各校1名）※全5校に1名ずつ常駐
- (3) 活用計画（案）
 - 学校内
 - 学校外

5 学校教育関係

- (1) 令和2年度人事1次案提出 1/28
- (2) ALT推進委員会 2/3
- (3) 就学支援委員会 2/17

6 社会教育関係

- (1) 第27回青野川ふれあいマラソン大会 2月2日（日）小雨決行
- (2) 芸能部門発表会 3月8日（日）

7 その他

- (1) 賀茂キャンパス（賀茂地域大学交流拠点施設）開所式 1/24
- (2) 学校管理職人事評価（教育長面談）1/30・31・2/5

事務局長 教育長報告で質問等はないか。

下村委員 賀茂キャンパスの中身はどういうものか。

佐野教育長 県下田総合庁舎内に整備した大学交流スペース。内部にはミーティングルームを併設し、机やいす、倉庫を完備。80人収容。賀茂地域でフィールドワークなどを実践する大学生の活動拠点とし主に静岡大学、県立大学、静岡文化芸術大学と6市町が連携協定を結ぶ大学が利用する予定。

事務局長 いわゆる、場所（スペース）と認識している。

4 報告事項等

事務局長 (1) 卒業式等の参列について資料により説明

《 原案どおりです承 》

事務局長 (2) 総合教育会議については後回しとし、先に次回教育委員会の日程について説明。(2/17を除く候補日にて日程調整)

事務局長 他には何かないか。

山口委員 1/17に新任教育委員研修（於：掛川 静岡県総合教育センター）に参加してきた。最後の施設見学の際、図書室を見学、県内各市町の広報誌が市町ごとにファイルに入れられ保管されていたが、南伊豆町についてはファイルのみで中身がなかった。近隣の市町は全てあった。

閲覧する者もいると思うので、広報担当等と協議し送るようにはどうか。

事務局長 当方からは送付していない。

広報担当課にも確認する。

他になければ、(2) 総合教育会議についてに入る。

この後に開催される総合教育会議の予習的意味合いで説明させていただく。今回の会議件目は「学校統合について」である。

資料に基づき説明

- ・31.1.22 伊豆新聞 「授業がやりにくくなったら統合すべきというのを第一に計画的に進める」と教育長発言済み。
- ・「町内中学校生徒数の推移」を参考に考える。
- ・統合後の学校施設活用構想

- ・統合検討委員会の設置
- ・小学校についても町年齢別人口を参考に考える。
- ・学校施設のユニバーサルデザイン化の検討

山口委員 耐震検査は済んでいるのか。

事務局長 現在の耐震基準（昭和56年6月1日以降適用）はクリアしている。
南中小屋内運動場は昭和54年築であるので平成21年度に耐震補強を実施している。

下村委員 給食数の減少、機械器具の老朽化等による給食施設の統合も考えているのか。

萩原係長 現在も器具が壊れた場合、三浜小から調達して来たりしているので、統合の際には改修できればと考えている。

事務局長 すでに人数的には1か所の施設で対応できる人数にはなってきていると考えている。

下村委員 施設を充実させて一つにまとめた方が効率的かもしれない。

事務局長 1か所になることにより業務委託料も安くなるかもしれない。

佐野教育長 現在の校舎がいつまで使用できるのか、どのくらい手を入れたら維持できるのかというのも大きな課題。

学校再編についての委員会を設置するのであれば、教育関係者以外に建築関係者も委員に入ってもらおうというのも一案。

時期、工事中の代替校舎案等も検討していかなければならない。そういうことも踏まえて今から何をしていくのかが重要となってくる。

井上委員 南伊豆中は改修すれば使えるようになるのだろうか。亀裂が入っている建物は一部を補修してもダメではないのか。

佐野教育長 体育館については耐震補強は必須と思う。

事務局長 うちとしては、教育的見地から考えてどこに学校を置くのがベストかという点をしっかり考えるべき。最初のその基本がぶれるとどこに置くかが定ま

らない。

山口委員 スクールバスの件も考えていかなければならない。

事務局長 このような内容でこの後の総合教育会議に臨んでいきたい。
以上で1月の教育委員会を終了とする。

15:18 終了

記事録署名人 山口 朝代

記事録署名人 佐野 薫

記事録署名人 大野 孝行